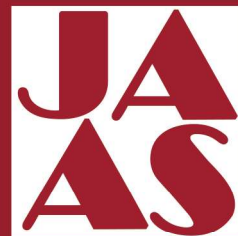


経営行動科学学会

第22回年次大会

大会プログラム



立命館大学大阪いばらきキャンパス(2019年11月16~17日)



経営行動科学学会 第22回年次大会プログラムご案内

《御挨拶》

経営行動科学学会（JAAS）第22回年次大会を、菊花の香る11月に、立命館大学大阪いばらきキャンパス（OIC）にお迎えすることになりました。北摂に位置する茨木市は、川端康成が3歳から18歳まで暮らした土地であり、歴史と文化を感じる街です。この地に立命館大学が3つ目のキャンパスを設立しました。大阪と京都の中間にあり、最寄のJR茨木駅より徒歩5分と、たいへん便利な立地にあります。OICは地域に開かれた大学の理念のもとに、校門と境界がないキャンパスとして、他大学・他キャンパスとはずいぶん違ったオープンな印象を与えています。

第22回年次大会では、67件の研究発表があります。どれも質の高い研究ばかりであり、関連領域を研究されている会員の皆さまに、学術的に豊かな刺激を与えてくれることでしょう。さらに、2つの「研究力強化セッション」と「学会賞受賞セッション」「公開レクチャー」が企画されています。

また、本学会の元会長である神戸大学大学院経営学研究科 金井壽宏先生が、令和第1号の紫綬褒章を受けられたことをお祝いし、金井元会長お呼びして基調講演をお願いしました。本学会の礎を築かれた金井元会長が、広く経営学に対して果たされてきた学術的貢献が、日本という国から認められたことを、本学会をあげてお祝いしたいと思っております。

大会2日目には、文部科学副大臣や日本サッカー協会理事などを歴任されている鈴木寛氏をお招きして、ご講演をいただきます。加えて、関西らしさを表に出して、元宝塚歌劇団のスター但馬久美氏と、『おもてなしの仕組みー京都花街に学ぶマネジメント』の著者 西尾久美子氏の対談を企画しました。宝塚や祇園の関西らしい雰囲気を、学術の世界を通して味わっていただきたいと思います。

年次大会は、会員相互の親睦をはかる最大の機会です。会員の皆さまには、この機会を最大限に生かしていただきますよう、よろしくお願いします。

経営行動科学学会第22回年次大会運営委員会

委員長 高橋 潔
北居 明

1. 会期・会場

(1) 会期：2019年11月16日（土）・17日（日）

(2) 会場：立命館大学大阪いばらきキャンパス（OIC）

（〒567－8570）大阪府茨木市岩倉町2－150

(3) アクセス方法 JR「茨木駅」 徒歩約5分

阪急電鉄「南茨木駅」 徒歩約10分

大阪モノレール「宇野辺駅」 徒歩約7分

<http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/oic/>

会場付近（茨木市）には宿泊施設が限られています。新大阪や京都からのアクセスが便利です。大阪市内や京都市内のホテルを活用してください。

2. 受付

(1) 受付時間・場所

発表会場に入られる前に、必ず受付手続きをお済ませください。

受付場所は、発表会場となる AN4 階のテラス前にご用意しています。

「予約前納者受付」と「当日参加受付」を設けています。

日時：11 月 16 日（土）8：30～20：00

日時：11 月 17 日（日）8：30～16：00

(2) 参加申し込みおよび諸経費

大会に参加される方は、学会ホームページを通じてお申し込みください。事前参加申し込みおよび事前参加費のお支払いの締め切りは、9 月 30 日です。今年度より、事前参加費のお支払いは、電子決済となりました。カード決済、あるいは、コンビニ決済にてのお支払いとなります。締切日以降の事前申し込みはできません。当日の参加申し込み、当日参加費のお支払いとなります。なお、事前参加費のお支払についてのご質問などは、経営行動科学学会事務局へお問い合わせください。年次大会運営委員会ではご対応いたしかねます。

参加費

参加費には USB 論文集ならびに懇親会費を含んでいます。

会員区分	9 月 30 日まで	10 月 1 日以降
会員（一般）	6,000 円	8,000 円
会員（大学院生）	4,000 円	5,000 円
非会員（一般・大学院生）	—	8,000 円（当日支払のみ）

（注 1）非会員の方は当日参加受付、当日参加費支払のみとなります。

（注 2）非会員の大学院生の方は、非会員の当日支払いの金額となります。

3. 領収書

領収書は受付で発行いたします。

4. 名札

受付手続きの終了後、名札をお渡しいたします。大会期間中は必ずお付けください。当日参加の方は、受付の際に記入台にてご所属・お名前を記入のうえご利用ください。

なお、名札ケースは、終了後ご返却ください。

5. 論文集の電子化に伴うお願い

論文集のデータが入った USB メモリを参加者全員に頒布いたします。大会当日は携帯可能なコンピュータや USB メモリをコンピュータで読み込むためのアダプタなどの持参をお勧めいたします。電子ファイルの印字は大会運営委員会では致しかねます。

6. 会場でのインターネット環境

会場には、Wi-Fi の環境はありません。

7. 総会（昼食つき）

11 月 16 日（土）12：25 分から、AS251 教室で開催いたします。

会員の方は原則ご参加ください。12 時頃より AS251 教室にて軽食をご用意いたします。

8. 大会優秀賞

大会優秀賞の表彰は総会でおこないます。

9. 懇親会（参加費無料）

11 月 16 日（土）18：00 から、生協食堂にて開催いたします。今年度は参加費は無料です。十分なご用意はできませんが、御気軽にご参加、御交流ください。

10. 昼食

11 月 16 日（土）の昼食は、総会にて、お取りください。

11 月 17 日（日）は食堂が使えませんので、お近くのイオンやコンビニエンスストアをご利用ください。

11. 休憩室・クローク

クロークは AN422、会員控室は AN416 を用意しています。どうぞご利用ください。なお、学内の建物内は全面禁煙となっています。喫煙をご希望の方は、大会当日に受付でおたずねください。

12. 託児サービスなど

託児サービス、障がいのある方へのサポートは、準備がございません。申し訳ありません。

13. 交通・宿泊

大学周辺に駐車場スペースはありませんので、公共の交通機関をご利用ください。また、宿泊先については、お手数ですが各自ご手配をお願いいたします。

＜座長・発表者・代表者の方々へのご案内とお願い＞

1. 発表時間

プログラム上、発表者一人あたりの発表時間は「研究・事例発表」「大学院セッション」とともに30分に設定しています。会場の大会運営スタッフが、

- ・発表開始から18分後に1鈴（報告終了2分前）、
- ・20分後に2鈴（報告終了）、
- ・30分後に3鈴（発表時間終了）、を鳴らします。

なお、発表者の交代時間を5分間とっております。時間管理をお願いいたします。

2. 座長の方へ

- (1) 座長の方は、発表者と報告タイトルの紹介、タイムキーピング、コメント、および質疑応答における司会をお願いいたします。
- (2) 担当セッションの開始10分前までに発表会場に入室いただき、発表者の出欠確認、必要な打ち合わせをおこなってください。
- (3) 時間配分の目安は「発表者の報告20分」「座長からのコメント1～2分」「フロアとの質疑応答8～9分」となります。発表者には20分の報告時間を厳守するようにお伝えください。
- (4) 発表者と聴講者の双方にとって有意義な研究発表の場になるよう円滑な運営・進行をお願いいたします。特に、大学院生セッションについては、発表者が今後修士・博士論文の執筆など研究を進めるうえで有益なアドバイスを得られるよう、座長の皆様から会場の聴講者にその旨ご説明いただければ幸いです。
- (5) 会場からの発言者には「所属と氏名」を名乗っていただきからご発言いただくようにご指示ください。
- (6) 発表の取り消しがあった場合には、次の発表を繰り上げることなく、プログラムに従い当初の予定の時間帯をお願いいたします。

3. 「研究・事例発表」および「大学院生セッション」の発表の方へ

- (1) 報告20分、質疑応答10分、計30分の発表時間を厳守してください。
- (2) パソコンは、会場に準備されています。発表者の皆様は、発表セッションの開始10分前までに発表会場に入室いただき、座長との打ち合わせやパソコンなどの機器の設定・調整などをおこなってください。
- (3) パワーポイントでの発表用にパソコン（Windows対応）とプロジェクターは会場に設置されています。パワーポイントを使用される方はUSBメモリにてデータをご持参のうえ、セッション開始前に各会場のパソコンにご準備ください。Mac等持ち込みでパソコンを持参される場合は、必要に応じ各自アダプタをご準備いただき、ご自身で設定・調整などをおこなってください。発表中のパソコンの操作は発表者ご自身でお願いいたします。なおOHPの準備はございませんのでご了承願います。
- (4) 会場で資料を配布する場合は、ご自身で資料を30部程度ご用意のうえ、セッション開始までに会場入り口の資料配布用の机に置いてください。なお、資料の残部はセッション終了後にご自身でお持ち帰りください。
- (5) 発表者席はとくに設けませんので、ご自身が発表される時間以外は一般席にお座りください。
- (6) 発表者が欠席する場合、または発表を連名発表者による代行などに変更される場合は、必ず事前に

大会運営委員会（jaas2019.ritsumeigmail.com）にご連絡ください。なお、年次大会の発表は、口頭発表と質疑応答に参加することにより正式発表として認められますので、発表者が欠席した場合には「発表取り消し」の扱いとなることをご承知おきください。

<第 22 回年次大会運営委員会メンバーおよび年次大会についてのお問い合わせ先>

共同委員長	高橋 潔（立命館大学総合心理学部）
共同委員長	北居 明（甲南大学経営学部）
委員	谷川智彦（立命館大学経営学部）
委員	金井文宏（立命館大学 OIC 総合研究機構稲盛経営哲学研究センター）
委員	谷口悦子（立命館大学 OIC 総合研究機構稲盛経営哲学研究センター）
委員	中川洋子（立命館大学共通教育推進機構）

《大会に関するお問い合わせは以下の通りです》

経営行動科学学会第 22 回年次大会運営委員会事務局

E-mail jaas2019.ritsumeigmail.com

大会スケジュール

第1日目 11月16日(土) 受付(AN4階のテラス前):8時30分～20時00分

	セッション1 (会場 AN411)	セッション2 (会場 AN412)	セッション3 (会場 AN413)	セッション4 (会場 AN414)	セッション5 (大学院) (会場 AN415)	
座長	犬塚篤(名古屋大学)	篠原さやか(九州女子大学)	谷口智彦(近畿大学)	関口倫紀(京都大学)	大里大助(福岡女学院大学)	
9:30～10:00	犬塚篤(名古屋大学) 購買センターにおける組織的決定の<重さ>	夏世明・藤本哲史・大平剛士(同志社大学) 女性技術者のデュアル・コミットメントと職場組織	舘琳・高橋 潔(立命館大学)・西田 豊昭(中部大学)・小峯 郁江(一般社団法人日本能率協会) 人事プロフェッショナルの育成に資する基本的特性尺度の開発	関口倫紀(京都大学) 多国籍企業の国際R&Dと人的資源管理—理論的統合の検討	増永通介(立命館大学大学院) 産業組織に従事する個人の人工知能に対する受容について—技術受容モデルに着目して	
10:05～10:35	牛山恭範・池上雅子(東京工業大学大学院) 長期的に見て高度成長率企業を生み出す倫理要素の解明	齋藤恵美(株式会社オークネット) 新規事業創出経験を通じた若手次世代リーダーの実践の開発に関する考察—ファーストベンギンよ、カモメへの変容を目指せ—	谷口智彦(近畿大学) 日系ブラジル人労働者のキャリア成功と定着に関する影響要因	LIU TING(広島市立大学)・関口倫紀(京都大学) The hidden bridge individuals? An empirical study of locally recruited parent country nationals in Japanese subsidiaries	田中利正(甲南大学大学院) 日本における経営理念の先行研究に関する考察	
10:40～11:10	小林裕(東北学院大学) 人的資源管理と企業業績の循環的因果プロセス:3波交差遅れ効果モデルに基づく分析	篠原さやか(九州女子大学)・藤本哲史(同志社大学) 女性研究者のワーク・ファミリー・コンフリクトに関する研究 ～女性研究開発技術者との比較から～	永田正樹(ダイヤモンド社) 部下育成のためのリフレクション支援	Saddam Khalid (University of Hyogo)・Tomoki Sekiguchi (Kyoto University)・Shehnaz Tehseen (Sunway University) Deactivating moral disengagement of entrepreneurs: Role of intrinsic religiousness in entrepreneurial ethical decision making	近藤秀和(筑波大学大学院) 組織間コンフリクトに対する統合型交渉に関する研究	
11:15～11:45	秋保亮太(中京大学)・大沼沙樹・村瀬俊朗(早稲田大学) 外部環境に対する認知の相違がチーム・パフォーマンスに及ぼす効果	大竹恵子(大手前大学)・大平剛士・藤本哲史(同志社大学) 医師の働き方における自律性がワーク・ファミリー・コンフリクトおよび抑うつに与える影響	西之坊穂(摂南大学) フォローアップとエンパワメントとの関連—フォローアップの特徴を含めた検討—	川勝諭(産業技術総合研究所) A study of Entrepreneurial Resilience: From the perspective of Positive Psychology	今井悠貴(神戸大学大学院) 企業内実践共同体の自律性に関する事例研究	
11:50～12:20	宮本文幸(桜美林大学) インダストリアル・デザインの発展領域—イメージ・モチーフ研究とマーケティング視点から見た新たな可能性について—	小野寺美希子(札幌医科大学附属病院) プロフェッショナルリズムの獲得とその影響に関する研究:看護師の仕事経験と職務行動	西尾久美子(京都女子大学) 価値共創人材のキャリア形成—京都花街と宝塚歌劇の事例—			理事会(会場 AN423)
12:25～13:25	会員総会 (会場 AS251) ※先着順で軽食をご用意しています					
13:25～13:40	会長演説 高橋潔(会場 AS251)					
13:50～14:30	基調講演 『経営行動科学学会にもぜひ期待したい〈持(自)論アプローチ〉のすすめ』金井壽宏氏(神戸大学) 司会:平野光俊(大阪商業大学) (会場 AS251)					
14:40～15:50	シンポジウム 【小林一三の思いと宝塚歌劇の組織文化】但馬久美氏 × 高橋保裕氏(宝塚大学将来構想企画室長) × 西尾久美子氏(京都女子大学) (会場 AS251)					
	セッション6 (会場 AN411)	セッション7 (会場 AN412)	セッション8 (会場 AN413)	セッション9 (大学院) (会場 AN414)	研究力強化セッション (会場 AN415)	
座長	初見康行(多摩大学)	西之坊穂(摂南大学)	小川憲彦(法政大学)	小林裕(東北学院大学)	村瀬俊朗(早稲田大学)	
16:00～16:30	初見康行(多摩大学)・柳崎修(法政大学)・坂瓜洋美(法政大学) 大学生のインターンシップ効果の検証—インターンシップの5つの効果とパネルデータを用いた分析—	坂本佑太郎・山田香・川越未紀・酒匂志野・百瀬大志(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ) 管理職候補者層における性格特性および指向の変化	小川憲彦(法政大学)・大里大助(福岡女学院大学) 個人—組織適合において個人特性が離職意図に与える影響	Ligui Lin・Xuejing Cai(北海道大学大学院) Effects of Formal Mentoring Implementation on Work Engagement: Meaningfulness of Work as a Mediator	(16:00～17:20) 村瀬俊朗(早稲田大学)・関口倫紀(京都大学) 海外の組織行動研究に用いられる方法論トレンドの検証と考察	
16:35～17:05	近長由紀子・井手幸史(プライトン・コンサルティング株式会社) 体育会系の経験から獲得された行動特性による新卒採用後のトランジョン加速可能性についての考察	桜井創 経営層への昇進選抜とライン管理者の役割～都市銀行を事例として～	大里大助(福岡女学院大学)・小川憲彦(法政大学) LMX規定要因としての補完的適合と類似的適合	三宅麻未(関西学院大学大学院) キャリア・コミュニティに関する実践的研究:キャリアイベントの事例研究による考察		
17:10～17:40	鈴木勘一郎・平井達也(立命館アジア太平洋大学) 日本人グローバルリーダーの成長プロセスに関する研究	小方真(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ組織行動研究所/埼玉大学大学院) 管理職へのトランジョンに向けた、中堅リーダーならびに越境経験と個人特性との関連性に関する研究	今城志保・藤村直子(リクルートマネジメントソリューションズ組織行動研究所) 職場の心理的安全性が個人に及ぼす効果を検証する—心理的に安全な環境は誰に資するのか—	小野康裕(甲南大学大学院) 専門学校へのアメーバ経営導入について—アメーバ経営導入の学校組織を通して—		
18:00～20:00	懇親会 (会場 生協食堂) ※会費無料 軽食と弦楽奏でお迎えます					

第2日目 11月17日(日) 受付(AN4階のテラス前):8時30分～16時00分

	セッション10 (会場 AN411)	セッション11 (会場 AN412)	セッション12 (会場 AN413)	セッション13 (会場 AN414)	セッション14 (大学院) (会場 AN415)	公開レクチャー (会場 AN423)
座長	久村恵子 (南山大学)	向日恒喜 (中京大学)	中西善信 (長崎大学)	中川洋子 (立命館大学)	尾形真実哉 (甲南大学)	松原敏浩 (愛知学院大学)
9:30～10:00	久村恵子・大塚弥生・山口和代 (南山大学) 感情労働化する社会における感情労働の特徴とその効果	金井文宏・谷口悦子(立命館大学) 理念型経営の哲学・教育プラットフォームによる社員の行動変化ーエスノグラフィによるJAL(日本航空株式会社)再生のケーススタディー	島田善道 (鳥取環境大学) 日本企業のグローバルリーダー行動ー大手製造業間接部門の中間管理職を例にー	岡部倫子 (横浜国立大学) ポジティブな感情が組織へ与える影響	辺見英貴 (神戸大学大学院) 病院における看護師の有益な沈黙に関する質的研究	(9:30～10:50) 松原敏浩 (愛知学院大学) 3軸リーダーシップ・モデルについての一考察:リーダーシップ・スタイルとリーダー人間性の統合
10:05～10:35	張明涛 (重慶工商大学) アビュース・スーパービジョンと新入社員組織社会化に関する研究ー通過儀礼の視点からー	向日恒喜 (中京大学) 心理的安全と組織コミットメントとの関連に対する組織内自尊感情の調整効果	中西善信 (長崎大学) プロジェクト型学習を通じた経験学習:大学での学びをいかに社会で活かしているか	多湖雅博 (新潟医療福祉大学) Appreciative Inquiryによる職場の人間関係の変化	最上雄太 (青山学院大学大学院) 実質的なリーダー発生過程の予備的検討	
10:40～11:10	木村裕斗 (新潟大学) 集団レベルの協調活動における成員の態度変容プロセスープロトコルデータを用いた相互作用過程の分析ー	柴田裕介 (北海道大学大学院) 相互作用的管理マネジメントコントロールシステムがビジョン共有に与える影響	Yunye Yang(Graduate School of Economics Kyoto University)・Jie Li (School of Management Shanghai University)・Tomoki Sekiguchi(Graduate School of Economics Kyoto University) The effect of English language proficiency on host country nationals' proactive behaviors in MNC subsidiaries	小出琢磨 (産業能率大学) 組織能力と組織学習の関連性ー組織能力形成に向けてー	谷口正一郎 (首都大学東京大学院) 組織開発としての社内ベンチャー制度:A社の事例分析を通じて	
11:15～11:45	板谷和彦 (香川大学) リカレント教育意識形成に関する定性的研究	大平剛士 (同志社大学)・有馬教寧 (同志社大学大学院)・藤本哲史 (同志社大学) 高齢介護職員の人材育成による能力開発と職務満足、職場継続意思	外島裕 (日本大学) 中堅社員における職務遂行行動の自己覚知メカニズム	戸田信聡 (奈良佐保短期大学) 食品メーカーX社におけるリーダーのダブル・ループ学習	Xie Di (立命館大学大学院) 中国における医薬情報担当者(MR)の早期離職に関する研究	
	昼休み / 編集委員会 (11:45～12:45 会場 AN423)					
13:00～14:00	講演『SDGsを担う企業人材と大学教育』 鈴木寛氏 (東京大学公共政策大学院・慶應義塾大学政策・メディア教授) 司会: 金井文宏 (立命館大学) (会場 C274)					
	セッション15 (会場 AN411)	セッション16 (会場 AN412)	セッション17 (会場 AN413)	セッション18 (大学院) (会場 AN414)	学会賞受賞セッション (会場 AN415)	研究力強化セッション (会場 AN423)
座長	北居明 (甲南大学)	高田朝子 (法政大学)	谷口悦子(立命館大学)	谷川智彦 (立命館大学)	藤本哲史 (同志社大学)	葉聰明 (九州大学)
14:20～14:50	船越多枝 (大阪女学院大学) 男性総合職モデルの日本企業におけるインクルージョン認識の要因とプロセス	楠奥繁則 (名古屋産業大学) 農業の6次産業化におけるプロデューサー育成についての研究ーセルフ・エフィカシー理論からみた若者の就農モチベーション研究ー	野間口隆郎 (中央大学)・井原久光 (東京富士大学) オープン・イノベーションのための強いリーダーに関する考察	丸子敦仁 (神戸大学大学院) 日本型人事管理システムと長時間労働の関係についての一考察ー先行研究のレビューからー	南地伸昭 わが国地方銀行の組織デザイン化戦略にみる環境適応行動ー情報通信技術革新と業務規制緩和の視点から	(14:20～15:40) 中藤 哲也 (中村学園大学)・葉聰明 (九州大学) テキストマイニング入門
14:55～15:25	北居明 (甲南大学)・江口尚 (北里大学) 企業の両立支援策が従業員に与える影響についての実証研究	高田朝子 (法政大学) 女性後継者の承継プロセスとリーダーシップ能力の研鑽	菊入みゆき (明星大学)・岡田昌毅 (筑波大学大学院) モチベーション伝播が成果達成行動に与える影響	高澤 真理枝 (京都大学大学院) Social Capital Impact on Subjective wellbeing in Japan	田中聡・中原淳 (立教大学) 新規事業創出経験を通じた中堅管理職の学習に関する実証的研究	
15:30～16:00	中森孝文 (能谷大学) 中小企業の外部人材の活用を促進する要因に関する一考察ー京都の中小企業の意識調査を中心にー	金秀能 (東京都医工連携HUB機構)・高田朝子 (法政大学) 地方都市における眼科偏在解消に向けた白内障手術に関するインバウンド受け入れについての一考察	石戸修 (玉川大学) 垂直的統合のインセンティブに関する一考察			

■全国大会会場（立命館大学大阪いばらきキャンパス）へのアクセス



■ JR 京都駅から

JR にて約 12 分、「高槻駅」で乗り換え約 5 分、「茨木駅」下車、徒歩約 5 分

■ JR 大阪駅から

JR にて約 11 分、「茨木駅」下車、徒歩約 5 分

■ 阪急京都河原町駅から

阪急にて約 26 分、「茨木市駅」で乗り換え約 2 分、「南茨木駅」下車、徒歩約 10 分

■ 阪急大阪梅田駅から

阪急にて約 18 分、「南茨木駅」下車、徒歩約 10 分

■ 大阪モノレール門真市駅から

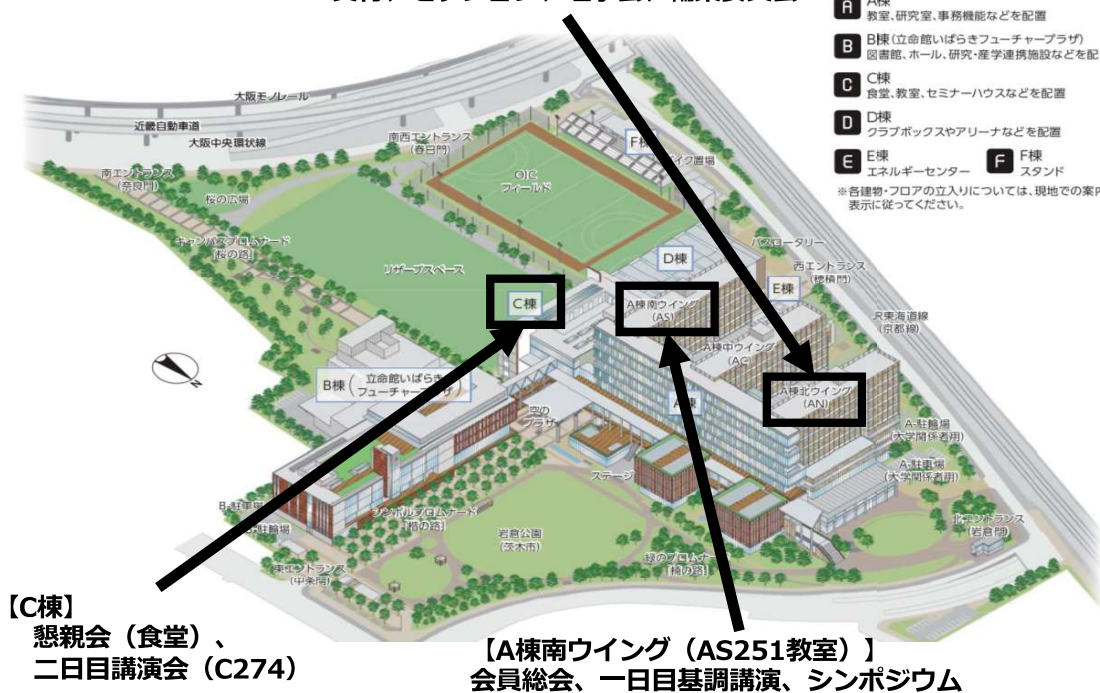
モノレールにて約 14 分、「宇野辺駅」下車、徒歩約 7 分

■ 大阪モノレール大阪空港駅から

モノレールにて約 21 分、「宇野辺駅」下車、徒歩約 7 分

■大阪いばらきキャンパス（OIC）

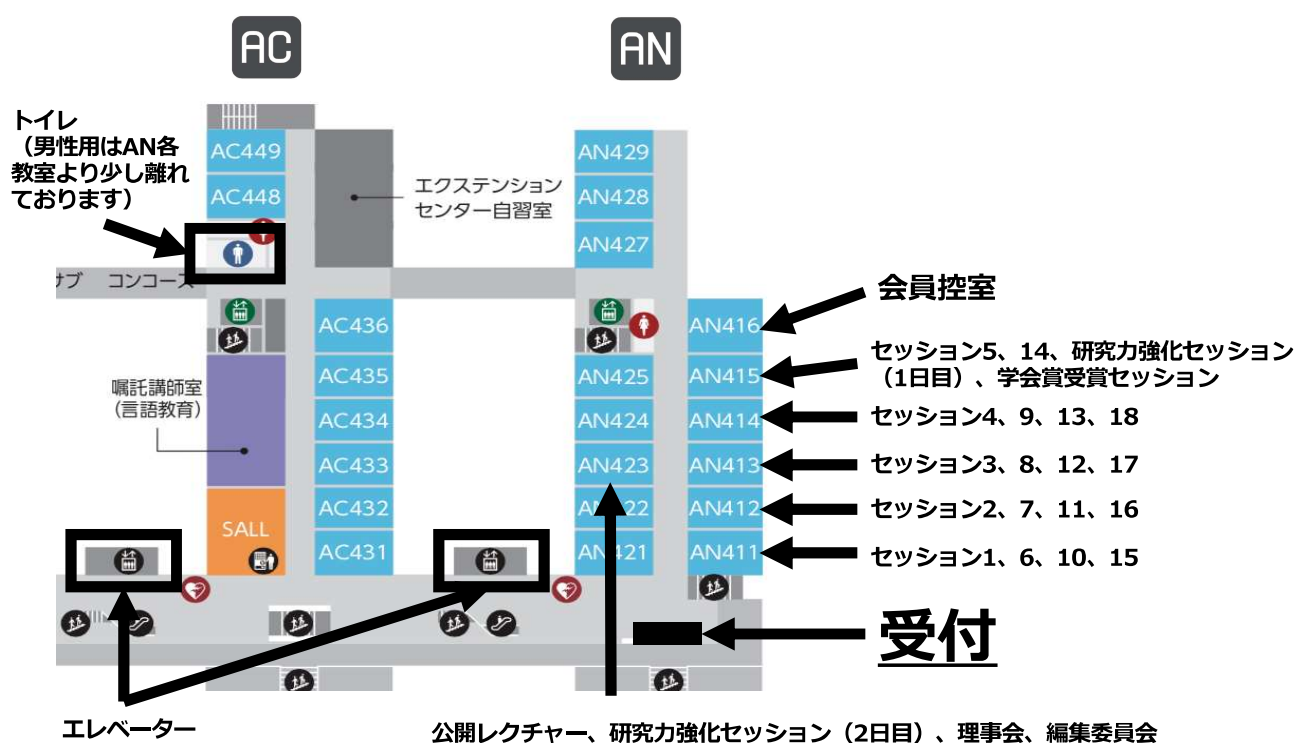
【A棟北ウイング（AN4階 各教室）】
受付、セッション、理事会、編集委員会



【C棟】
懇親会（食堂）、
二日目講演会（C274）

【A棟南ウイング（AS251教室）】
会員総会、一日目基調講演、シンポジウム

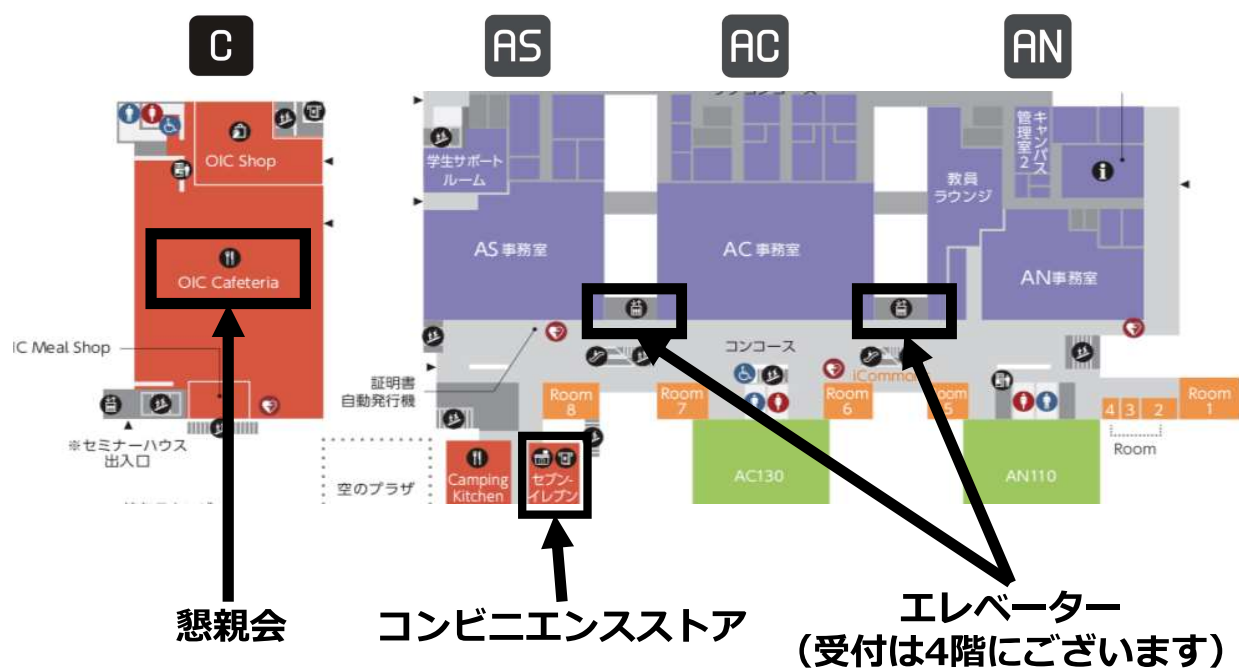
■各フロアのご案内：4階



■各フロアのご案内：2階



■各フロアのご案内：1階



紫綬褒章受章記念講演

講演 11 月 16 日（土） 13 時 50 分～ 14 時 30 分

「経営行動科学学会にもぜひ期待したい〈持（自）論アプローチ〉のすすめ」

金井壽宏（神戸大学大学院教授・経営行動科学学会元会長）

理論は、学者だけの専有物ではありません。また、経営学のような実践的学問分野ではクルト・レヴィンにならい「役に立つのがよい理論だ」という発想がとても大切です。学者によるリーダーシップの緻密な理論も貴重ですが、実践的に役立ち、かつ実際の仕事の中でもより役立つのは、自分が信じ実行しているリーダーシップの持論を言語化し、明言することです。使われない学者の理論より、実際に経営者が使用している自分ならではの言葉によるリーダーシップ〈持（自）論〉の存在にもっと注目すべきでしょう。

講演

講演 11 月 17 日（日） 13 時 00 分～14 時 00 分

「SDGs を担う企業人材と大学教育」

鈴木 寛（東京大学公共政策大学院、慶應義塾大学政策・メディア教授）

鈴木先生は文部科学省副大臣・補佐官として主体的に課題解決を担う市民を育成する教育改革を推進するとともに、東大や慶応では学生に社会的起業の重要性を説き、多くの起業家を輩出しています。

「課題解決先進国」が日本の進むべき方向性として説かれてから 5 年を超えました。この間、地球環境問題、米中対立、経済格差・テロなど地球レベルの課題は増え続けています。我が国も深刻な少子高齢化に伴う問題（社会保障財政の危機、消滅都市）、地球温暖化による大規模な自然災害の頻発など、固有の課題を抱えています。国連サミットで 2015 年に採択された SDGs（持続可能な社会を実現するための 17 のゴール）は、グローバルな課題を解決するため企業経営に理念と目標を求めるもので、これを担う人材と教育について語っていただきます。

登壇者紹介

鈴木 寛 先生

プロフィール

東京大学公共政策大学院、慶應義塾大学政策・メディア教授

東京大学法学部卒業。通商産業省、慶應義塾大学助教授を経て参議院議員（12 年間）。

文部科学副大臣（二期）、文部科学大臣補佐官（四期）などを歴任。教育、医療、スポーツ、文化、科学技術イノベーションに関する政策づくりや各種プロデュースを中心に活動。

現在、大阪大学招聘教授（医学部）、千葉大学医学部客員教授、神奈川県参与、OECD

教育スキル局教育 2030 プロジェクト役員、World Economic Forum Global Future Council member, Asia Society Global Education Center Advisor, Teach for All Global board member, 日本サッカー協会理事、ユニバーサル未来推進協議会会長なども務める。



シンポジウム

講演 11 月 16 日（土） 14 時 40 分～ 15 時 50 分

「宝塚歌劇の人材育成と小林一三の思い」

25 年の経験を有する元スタータカラジェンヌ但馬久美氏をお迎えし、一般にあまり知られていない日本を代表するエンターテイナーのキャリア形成の実情を詳しく聞かせていただきます。さらに、電鉄事業を創業し宝塚歌劇を設立した小林一三の思いについて、地域経営に造詣が深い阪神阪急ホールディングスの高橋室長からお話を伺い、100 年以上継続する宝塚歌劇人材育成との関連から、人づくりと街づくりのつながりにも視野を広げていただく、関西での大会開催ならではのシンポジウムです。

登壇者紹介

但馬久美氏

宝塚歌劇団 50 期生として入団。宝塚きっての名ダンサーとして知られ「ベルサイユのばら」のアンドレ役、「風と共に去りぬ」のアシュレ役を務めるなど、昭和後期の宝塚黄金時代を築く。星組副組長、花組組長を歴任。1988 年、星組公演「戦争と平和」（ナポレオン・ボナパルト役）を最後に退団。1995 年参議院議員初当選（1 期 6 年）。現在はフリーとして活動し、各種多数の舞台に出演。関西学院大学非常勤講師、長野県南箕輪村ふるさと大使。



高橋保裕氏

宝塚大学将来構想企画室長（阪急阪神ホールディングスより出向）、関西学院大学・大阪府大大学院非常勤講師。日豪の大学院にて MBA 修了。阪急東宝グループの森組・ステーションネットワーク関西の常務取締役等歴任後、関経連・広域観光部長等を経て現職。阪急電鉄ではマンションブランド「GEO」の名付け親。関西の広域観光戦略や KANSAI ワンパス等策定。著書：『事業・地域再生イノベーション』学術図書出版 2009 年、「新時代のコミュニティビジネス（共著）」関学産業構造研究所 2005 年（中小企業庁奨励賞）など。



西尾久美子氏

京都市生まれ。大阪ガス株式会社に勤務後、神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了、博士（経営学）。現在は、京都女子大学現代社会学部教授。専門は経営組織論、組織行動論。

主な著書：『京都花街の経営学』東洋経済新報社 2007 年、『舞妓の言葉—京都花街、人育ての極意』東洋経済新報社 2012 年、『おもてなしの仕組み—京都花街に学ぶマネジメント』中央公論新社 2014 年、「エンターテインメント産業の人材育成」嘉本伊都子・西尾久美子他編『現代社会を読み解く』晃洋書房 2015 年 など。

